



平成26年度 公共建築物等への 県産材利用事例集

三重県は、平成22年12月に「みえ公共建築物等木材利用方針」を策定し、公共建築物等の木造・木質化を積極的に推進しています。

木材は断熱性、調湿性に優れ、紫外線を吸収する効果や衝撃を緩和する効果が高いなどの特徴があるため、学校などの公共建築物の木造・木質化は多くの人に心地よい感覚をもたらします。さらに、地域で生産された木材を利用することは、「木を植える→育てる→収穫する→また植える」といった「緑の循環」につながり地域の環境保全にも貢献します。